

令和6年度第1回鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会 地域連携部会 会議録

日時： 令和6年10月17日（木）午後2時から午後3時

場所： 市役所地下1階 団体研修室

出席者： 遠藤善治（障がい福祉課長）、  
三浦健（鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会会長）、  
菊地謙（鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会副会長）、  
橋本結希（障がい者の働くを支えるチーム）、  
馬場武士（地域資源を調査・研究しよりよい方を提言するチーム）、  
福田弘子（精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム）、  
佐野由佳（医療的ケア児支援チーム）

欠席者： 竹之内純一（障がい者のつながりを支えるチーム）、  
竹内直人（障がい分野の情報を発信・啓発するチーム）

事務局： 【鎌ケ谷市障がい福祉課】 高橋主幹  
【鎌ケ谷市基幹相談支援センターえがお】 渡辺、坂巻、恩田

傍聴者： 0名

添付資料： ・式次第  
・「地域連携部会」部会員一覧  
・資料1 協議会の組織図、自立支援協議会の組織体制  
・資料2 企業向けアンケート  
・資料3 千葉県移動介護従事者養成研修 実施要項  
・資料4 「困った！どうする！？支援者向けシート」  
・資料5 障がい分野の情報を発信・啓発するチーム報告  
・資料6 つながるシート  
・資料7 日常生活用具の対象に非常用発電機等を追加しました

・本日の委員の出席者数と傍聴者数の報告

本日の委員の出席者7名、会議成立の定則数の過半数を超えている旨を報告

・部会長挨拶

・委員自己紹介

## 1 地域連携部会について

事務局より、資料1「協議会の組織図、自立支援協議会の組織体制」を基に、鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）の地域連携部会について説明した。

## 2 各テーマ別チーム会議における検討状況の報告

協議会の各テーマ別チームのリーダーより検討状況を報告した。

### (1) 障がい者の働くを支えるチーム

- ①「鎌ケ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」と就労系事業所の地域連絡会を発足させたことにより関係機関同士でスムーズに連携が取れるようになった。
- ②鎌ケ谷市内の企業の障がい者雇用について考えるため、鎌ケ谷商工会議所の協力のもと「企業向けアンケート」を350か所に配布したが、返信は2か所のみいずれも「興味なし」という回答であった。この現状を踏まえ、企業向けのアプローチは段階を経て続けていくこととし、まずは当事者の方について（本当に就職が必要なのか、どういう生活をしたら良いのか等）もっと良く知る必要があるため、当事者向けのアンケートを作成している。

### (2) 地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム

一昨年度にまとめた「提言書」を基に、昨年度は実施したアンケート結果や課題をまとめた「報告書」を協議会の本会議に提出した。移動支援について、通学支援は市に特例の制度化をしてもらい今年度から運用が始まっている。今年度は、移動支援の担い手が少なく増やしていく必要があるという課題に焦点をあて、研修会（この研修を受ければ移動支援ができるというもの）の実施を検討している。習志野市の「一般社団法人たからばこ」に依頼を予定しており、研修の講師謝礼金10万円を協議会の本会議に諮りたい。

研修会の詳細は、「資料3 千葉県移動介護従事者養成研修 実施要項」参照。

### (3) 障がい者のつながりを支えるチーム

昨年度に完成させた「資料4 困った！どうする!?支援者向けシート」を関係機関に配布し、実際に使用してもらった感想等をチームメンバーが確認した。このシートの裏面「つながりを支えるポイント」があまり活用されていないことが分かり、より有効活用してもらうためにも事例検討をしながらシートの活用法を考える。併せて今後のシートの配布先も考えていく。

### (4) 障がい分野の情報を発信・啓発するチーム

昨年度も実施した「鎌ケ谷市障がい福祉サービス事業所等合同説明会～福福フェア～」を令和7年1月26日（日）に開催したく、協議会に諮りたい。現時点で30事業所から出展申し込みあり。

「福福フェア」の詳細は、「資料5 障がい分野の情報を発信・啓発するチーム 報告」参照。

### (5) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム

昨年度までに「つながるシート」（つながっている・つながっていない・退院して地域への3種類）、「状況チェックシート」、「情報提供書」を完成させた。今年度は、これらのシートを実際に活用してもらうよう相談支援事業所連絡会や地域包括支援センターのセンター長会議で説明

をお願いした。今後は訪問看護ステーション等にもお願いする予定。

#### (6) 医療的ケア児支援チーム

昨年度は、医療的ケア児の災害対策について「提言書」を提出した。令和6年4月より蓄電池の購入に対する補助金が出ることとなった。「資料7 日常生活用具の対象に非常用発電機等を追加しました」のとおり市のホームページにも掲載されているが、まだ知らない方が多いのでパンフレット等を作成し学校や放課後等デイサービス等に配布する予定。それに伴い医療的ケア児等コーディネーターの活用法や他市の状況について「千葉県医療的ケア児等支援センターぱらりす」をチーム会議に呼んで話を聞くこととなっている。

部会長

「地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム」の研修実施と講師料について、および「障がい分野の情報を発信・啓発するチーム」の福福フェア開催についての2点を協議会に諮るということによろしいか。

→異議なし

質疑応答

部会員

昨年の福福フェアはどのくらいの人数が参加したのか。

部会員

来場者は約100名、内訳は当事者と家族が6割、福祉事業関係者2割、市の職員等その他2割だった。参加事業所は35事業所、参加当事者団体は2団体であった。また、去年は平日開催であったが今回は日曜日に開催する。午後の来場者が少なかったため開催時間を少し短くして行う。

部会員

市内の非常用発電機のマップ等はあるか。

部会員

どこに非常用発電機があるかは確認したが、医療的ケア児の非常用電源となるレベルの発電機は2か所しかないためマップは作成していない。

部会員

他市では、緊急時には高齢者施設や工場にある発電機を一時的に借りることができる仕組みになっているところもある。

部会員

「鎌ヶ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」は毎年改訂することになっているか。

事務局

就労系事業所同士の連携を深めるために連絡会を発足させた。その連絡会で毎年秋頃に改訂し市のホームページに掲載する。

部会員

企業向けアンケートについては、「障害者就業・生活支援センター あかね園」と連携をとって見たら良いと思う。企業向けに広報や啓発を行っているのでノウハウ等のアドバイスをもらえるのではないか。

### 3 次回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会の議題について

事務局

令和6年10月23日開催予定の本会議の議題は、以下3点とする。

- ・テーマ別チームからの令和6年度活動報告（事務局より報告する）
- ・「地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム」の研修講師謝礼金を協議会の委員研修費から支出する件
- ・千葉県が定める「日中サービス支援型グループホーム」の評価

→異議なし

部会長

ほかになければ、閉会とする。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和6年10月31日

氏名 福田 弘子

氏名 佐野 由佳